

お楽しみ会開催 ㊤ マーサ21



お楽しみ会は、スタッフの間で「お楽しみ会を開きたい」という声があったので、スタッフの藤原さんが中心となり、「マーサ21」でお楽しみ会を開催を進めてきました。

お楽しみ会第1弾は、ボウリング大会、第2弾は、お楽しみ昼ご飯。マーサ21のフードコートで食べたいものを自由に食べるというもの。

当日は10時頃にマーサに集合し、3階にあるボウリング場へ移動して、お楽しみ会開催のお言葉を赤石さんより頂き、ゲームを始めました。ゲームはグループごとレーンに分かれて行い、みんなでプレイしました。1人で投げるのが難しい人は、投球台に玉を乗せて投球しました。ちなみに、投球台は本日おろしたての新品の投球台を使用しました。マーサボウルのいいところは、ガーター有り無しが手元のリモコンで操作できるので、それぞれの楽しみ方に簡単に合わせられるのでとても便利でした。

スコアはみんなそれぞれですが、倒れるピンを楽しそうに見てガッツポーズを決める方やストライクやスピアが出た人には、みんなでハイタッチのお迎えなど楽しくゲームができました。

その後は、1階に移動してフードコートで好きなもの食べておしゃべりをしてデザートを食べ満足して「マーサ21」を後にしました。

その後、1時30分には送迎車両に乗り、ビー・カンパニーに戻りました。

みなでお楽しみ会をするというのは、なかなかないので、みんな「またやりたい」と名残惜しそうに昼から、仕事に向かう面々でした。



当日の感想を簡単に紹介

ボウリングは久しぶりだったので楽しかった。

伊藤

ガーターが多かったけど、ストライクが出た時は嬉しかったです。フードコートで中華料理を食べましたが、美味しかったです

清水

ボウリングは久しぶりに行きました。うまく投げる事ができました。ハイスコアではなかったですが、皆で楽しめてよかったと思います

新宮

「編集後記」

寝苦しい暑さもなくなり、窓を開けているだけで心地よく寝ているのは自分だけでしょうか？

畑の野菜も夏野菜が終わり冬野菜の準備に入る農家さんの姿、空も虫の鳴き声もなんとなく秋めいて来ているような・・・最近、温暖化のせいでしょうか？春と秋が夏に乗っ取られかけているような感じで、じわりじわりと夏の勢力が拡大しているようにも思います。春と秋が乗っ取られないように、小さなことから始め、社会全体で持続可能な生産社会になっていくように心がけたいですね。

秋は、やっぱりおいしい食べ物収穫されますし、みんなに楽しんで頂けるビー・カンパニー「ふれあいまつり」もあるので秋は、大事にしたいですね (文責 服部)

編集/発行
ビー・カンパニー
住所 岐阜市古市場 79-1
Tel 058-214-811
Fax 058-214-8447
E-mail be-company@tsukkaibo.com

ビー通信

2015.8.31
発行
通巻号
No17

共同募金会からの配分金による備品の整備が完了



昨年申請し、配分決定通知を頂き今年度整備を進め、先日、整備が完了しました。前回・前々回の通信でも簡単に紹介させていただきました。備品購入総額が178万円にも上ります。共同募金会からの配分金が132万円も頂け、高額な備品、ジャム充填機・冷凍ストッカー・エアコン・ステンレス鍋を整備することができました。大変ありがとうございます。

早速、車椅子のスタッフに作業を手伝ってもらいました。最初は、恐る恐る充填作業していましたが、慣れてくるとテキパキとビン詰め作業をしています。90℃近くのジャムをビン詰めにするので充填後の瓶は熱く、大変な作業を丁寧に頑張っていただけでした。この充填機のおかげで障がいを持ったスタッフでもジャムの製造の一翼を担えやがいと責任を持って、更に、たくさんのジャムが作れることで現在、販路が少し拡大しました。雑貨屋さんや自然食のショップ、道の駅等置いて頂けるところが増えました。これからも、安全でおいしいオリジナルジャムを製造していきますので応援よろしく願います。



ヴァリエーション営業会議

6月に開かれた営業会議に続き、7月1日にヴァリエーション(ろうそく製造販売部門)の会議を行いました。営業会議は、作業担当の他、関心のある人が自由に参加するという事になっていますが、今回はロウソク担当以外の障がい者スタッフ2名が参加してくれました。担当以外までに参加を拡大するのは初めてなので、まず開設以来の年間の売り上げの移り変わりと、昨年度の売上の内訳を説明しました。

当初は、めずらしさや価格の手ごろさで3、4年間ぐらいいは売り上げを伸ばしましたが、その後はほぼ毎年下がりが続け、昨年の売り上げはピーク時の半分以上になっています。売り上げが減った理由としては、バザーやイベントなどの販売する機会自体が減ったこと、つながり亭との合併により販売時にキャンドルを陳列する量が減ったことが考えられますが、この十数年間のキャンドルの市場変化も見逃せません。

作家さんが増え、作品が多様化、クラフトマーケットなどの販売機会も増え、キャンドルは以前より身近になり、個性を求められるものになっています。

まずは、販売の回数を増やすことが必要だという認識を共有しました。身近なマーケットに出店する方向で考えていますが、具体的な販売場所、販売に行くメンバーや日程の調整などについては今後の課題として持ち越されました。

作品については、デザインや工程を見直すことで障がい者スタッフで制作を進められる部分を増やしつつ、大手メーカーの量産品でも作家さんの一点ものでもない手作りの良さが気軽に使えるものを考えていきます。

また、毎年12月に柳ヶ瀬で開催してきた手作りキャンドル展については、会場としてお借りしていたスペースがなくなり、それに替わる展示や販売のめどもついていない状態です。今後どうしていくか大きな課題となっています。

第4回ビー・カンパニー「地域交流ふれあいまつり」開催の運営会議



8月5日に1回目のふれあいまつり運営会議を開きました。

内容は、交流コーナーを何にしようか？模擬店は何を出そうか等、みんなで話し合いました。色々な意見が出て、「去年の模擬店のカレーは残ったからもう少し考えよう」とか、「車椅子体験のタイムトライアルは良かったから、今年も開催するべきだ」や、「もっとたくさんの人にまつりに来てもらうにはどうしたらいい？？」などなど予定時間を超えて話会いました。いくつか決定した事項や、これから、急いで詰めて行かなければならないことがたくさんあることが分かり、みんな、やる気にみなぎっていました。

「ボランティアさん募集」

下記の日時に手伝って頂ける方を募集しています。全日程でなくても午前中だけ午後だけでも構いませんので、ご連絡お待ちしております。ご連絡先は、下記の電話番号の服部まで。よろしく、お願いします



「第4回ふれあいまつり」開催決定

場 所 ビー・カンパニー敷地内 （岐阜市古市場 79-1）

日 時 10月10日（土） 11時～15時



お楽しみイベント 大道芸、マジック 腹話術 等 依頼中
模擬店 フランクフルト、カレー・焼きそば
先着 100名様分 豚汁 無料配布！！ 食べに来てね～
鳴門金時の石焼き芋 絶賛 販売予定

交流イベント 車いすスラロームタイムトライアル 開催予定
授産製品の販売 キャンドル、オリジナルジャム、オルタ弁当、自然食品等 販売予定
イベント盛りだくさん是非、遊びに来てください！！

おまつり最後のイベントは “ビンゴ抽選会開” 絶対来てね！



問い合わせ先 058-214-8114 服部

私のサッカー観戦体験記

私は、5月24日に岐阜メモリアルセンターで、FC岐阜対大宮アルディージャの試合をボランティアの方と一緒に、観戦しました。

観戦しようと思ったきっかけは、私はスポーツが好きで、中でも高校野球とサッカーが好きで、高校野球は、毎年県大会予選から決勝までを1人で観戦して、楽しんでいます。でも、サッカーは観戦に行くまでは観戦に行きなかったけど、「1人では観戦できないだろう」と思っていて、それでも、観戦したかったので、つかいぼうの吉田さんに「車椅子だけど、サッカー観戦をしたいができるか」という相談をしたら「車椅子で観戦に行っている人を知ってるから行けると思う」と言われたことがきっかけです。

しばらくして、吉田さんから連絡があり、「一緒に行っても良い」という方がいることを知って、吉田さんを通じて一緒に行ってもらえるようにお願いしました。返事は「いいよ」という事だったので、当日、つかいぼうで待ち合わせました。

試合の当日はナイトゲームで、家からバスに乗って待ち合わせ場所のつかいぼうに向かいました。車中で、試合前から盛り上がるサポーターを見て驚きましたが「今から自分が行く所はあいう所なのか」と思うと楽しみになっていました。その後、バスを降りてつかいぼうに向かい、ボランティアの方と合流しました。その方は男性で、見た目は青木君と同じ歳に見え、好印象をもちました。

つかいぼうから歩いて、会場に向かう途中、急なスロープがあり、登るのが大変でした。その他にはボランティアの方の歩く速度が速く、ついて行くのが大変で、「もう少しゆっくり歩いて欲しかった」と思いました。改めて振り返ってみると「もう少しゆっくり歩いてください」と言えば良かったと思っています。

試合会場に入ると、既に大勢のサポーターで埋め尽くされ、もの凄い熱気が漂っており、サポーターの中の応援を指揮する人達が、応援歌の歌詞カードを配ったりしていました。

いよいよ、キックオフになると、両チームの声援が飛び交う中、私は会場の圧倒的熱気に最初は飲まれてしまったのですが、慣れてくるとプレー中のボールを蹴る音をはじめて聞いた時に、プロサッカー選手のボールを蹴る鈍い音を聞いたて、「できることならピッチでプレーがしたい」と思えるほど大きな感動を覚えることができました。

そんな大きな感動をした後にはお腹が空いたので前半終了後に、屋台でフランクフルトと焼きそばを買って食べました。味はあまり満足できませんでしたが、お腹は一杯になりました。

食べた後、後半に入っても、FC岐阜は1度も、ゴールネットを揺らすことができず、残念ながら0-5で負けてしまいました。ゴールの瞬間が見られると最高だったのですが、残念です。

試合終了が近づき、私は帰りが混雑するのを避けたかったので、2人で試合終了の3分前に会場を出ました。そのおかげかで、混雑することなく出られました。出た後は、二人でつかいぼうまで歩いて行って、ボランティアの方と別れた後、1人でバスに乗って帰りました。乗れるかどうか不安でしたが、バス乗り場まで行ったら乗せてくれるだろうと思っていたので、そんなに不安はありませんでした。

こうして試合観戦を終えた私ですが、行けるかどうかを気に過ぎて、あまり「一緒に楽しむ」ということができなかつたと思うので、もし、次回誰かと行ったら、ゲームと一緒に楽しめると、いいなと思いました。

（文責 赤石幸久）